



「第2期北海道競馬推進プラン」 の実現に向けた中間点検について

平成30年8月2日
北海道農政部競馬事業室

第2期北海道競馬推進プラン(平成29~33年度)の取組の方向性



取組の柱

1 顧客(ファン)の拡大

- ① 高画質な映像の提供
- ② 新たな顧客を意識した取組の推進
- ③ JRAファンの顧客の囲い込み
- ④ 競馬+αの創造

2 賞品(馬)と品揃え(番組)の充実

- ① 馬のいきゅう促進と馬主の確保
- ② 強い馬づくりの推進
- ③ 競馬界全体の盛り上がり資する番組体系の再編
- ④ 魅力ある番組の追求

3 サービスの向上と発売チャンネルの拡大

- ① 高画質な映像の提供(再掲)
- ② 顧客ニーズを捉えた情報提供の充実
- ③ 発売チャンネルの拡大

4 事業の持続的な発展のための施設等整備並びに経営体質強化等

- ① 施設等の計画的な整備
- ② 経営体質強化に向けた取組の推進
- ③ 競馬運営の基幹施設のあり方の検討

1 顧客(ファン)の拡大



【現状と課題】

[H30年7月26日現在]

○道内発売の減少

- ・道内発売 745百万円 (対前年比77.8%)
- ・入場者数 124,259人 (対前年比102.9%)

○ネット発売の拡大

- ・H29:80.9% → H30:83.5%

現行プラン策定以降の主な実施状況

① 高画質な映像の提供

- 映像のHD化、映像の改善(H28)
車載式ビジョンをデジタル放映対応(ワイド画面)に更新(H30)

② 新たな顧客を意識した取組の推進

- スマートフォンを意識したオフィシャルHPのリニューアル(H30)、
キャッシュレスシステムの導入

③ JRAファンの囲い込み

- J-PLACE実施日におけるホッカイドウ競馬のPR

④ 競馬+アルファの創造

- Aibaまつり等の実施、来場ポイントカードUMACAの実施

中間点検

【検討の方向性】

その1
道内競馬ファンの
拡大に向けた取り
組み

その2
Aibaの認知度向上

2 商品(馬)と品揃え(番組)の充実



【現状と課題】

[H30年7月26日現在]

- 3歳馬以上Uターン頭数 ・H29:79頭 →H30:75頭
- 出走延頭数 3,511頭 (対前年同期比100.0%)
- 1R当頭数 100.3頭 (対前年同期比100.0%)
- ホッカイドウ競馬が11月中旬から4月中旬まで休催する中、2歳馬の3/4が南関東競馬やJRA、他の地方競馬などに転きゅう

現行プラン策定以降の主な実施状況

① 馬のいきゅう促進と馬主の確保

- 報償費の増額(H28～)、3歳馬輸送費補助(H28)、3歳以上馬輸送費補助(H29～)

② 強い馬づくりの推進

- 坂路調教の実施

③ 競馬界全体の盛り上がり資する番組体系の再編

- ダートグレード競走やシリーズ競走など全国的な番組再編の場への関与

④ 魅力ある番組の追求

- 内回りコースのナイター化(H28)

中間点検

【検討の方向性】

その1

冬期間の道外で出走した競走馬が開幕時に戻ってこれるような仕組みの充実

その2

転きゅうしなくても出走できる環境の整備

その3

全国的な番組再編への関与

3 サービスの向上と発売チャンネルの拡大



【現状と課題】

[H30年7月26日現在]

- ホッカイドウ競馬の特色である2歳馬戦の発売が相対的に低迷
- | | | | |
|---------|-----------|-------|---------|
| ・1R当売得金 | 2歳(重賞等除く) | 15百万円 | |
| | 3歳(重賞等除く) | 18百万円 | [H29年度] |

現行プラン策定以降の主な実施状況

① 高画質な映像の提供(再掲)

→ 映像のHD化、映像の改善(H28)、(再掲)車載式ビジョンをデジタル放映対応(ワイド画面)に更新(H30)

② 顧客ニーズを捉えた情報提供の充実

→ ホームページ、SNS等での情報提供、(再掲)スマートフォンを意識したオフィシャルHPのリニューアル(H30)

③ 発売チャンネルの拡大

→ 府県における場間場外拡大、Aiba札幌駅前の再開

中間点検

【検討の方向性】

その1

HP、SNS等を活用した情報発信の充実

その2

2歳馬戦の情報拡充や北海道出身馬情報の発信強化

その3

場外発売所の新たな設置や統廃合

4 事業の持続的な発展のための施設等整備

【現状と課題】

- お客様サービス向上の観点で、施設の整備を検討
- 特に、きゅう舎(S57、S60)、アパート(S57、S60)、汚水処理施設(S57)など基幹的施設が老朽化し、状況に応じた修繕を行うなどして、老朽化対策を実施

現行プラン策定以降の主な実施状況

① 施設等の計画的な整備

- 照明のLED化(H28)、走路整備(H28)、車載ビジョン整備(H29)、車載式ビジョンをデジタル放映対応(ワイド画面)に更新(H30)

② 経営体質強化に向けた取組の推進

- 業務内容の点検、経費節減

③ 競馬運営の基幹施設のあり方の検討

- きゅう舎やアパート群など基幹施設の将来構想はプラン期間内に検討

プランの中間点検

【検討の方向性】

その1

現行プランの最終年度(H32年度)までに、基幹施設の整備のあり方など将来構想を策定。必要な財源の確保等を踏まえ、第3期プラン期間以降(H33～)に整備を検討

その2

顧客サービス向上の観点での整備(パドックビジョンなど)